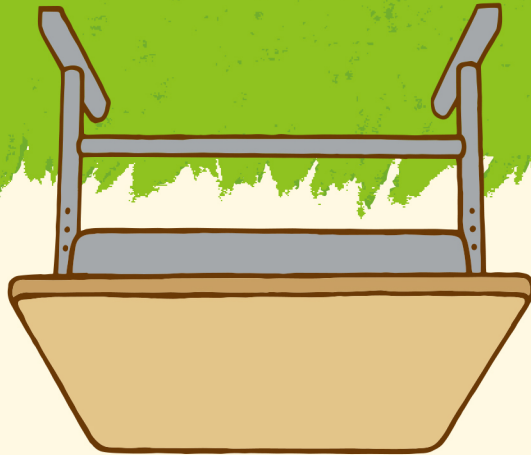


学校机について大切なおはなし
がっこうのき
たいせう



みんなの
みんなの

保護者のみなさまへ

わたしたちからのメッセージ

このパンフレットは、普段何気なくお子さまたちが使っている学校机の天板が、地元の様々な人たちによって

多くの工程を経て作られていること、そして、地元の木を使うことが地域だけでなく地球の環境保全に

大きく役立っている、ということを知っていただくために作成いたしました。

ひとつひとつが手作業のため、大量生産されている一般的な工業製品と比べると高価なものではありますが、

手仕事ならではのぬくもりがあり、世界にひとつだけの“生きている”天板です。

わたしたちは、里山資源の活用を通じて、地域の発展と自然環境の保護に貢献してまいります。

愛着を持ち、この机を使っていただければ幸いです。

製造・お問合せ

登米町森林組合

〒987-0703 宮城県登米市登米町大字日根牛小池100

TEL 0220-52-2075 FAX 0220-52-2876

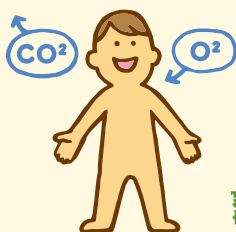
E-mail precut02@forest100.jp URL forest100.jp

がっこうづくえ てんぱん

みなさんの学校机の天板には、 とめ つか 登米の「コナラ」が使われています。

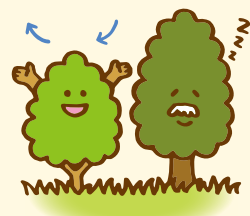
さんそ くうき
酸素をつくり空気を
キレイにします

ひと さんそ す にさんかたんそ は
人は酸素を吸って二酸化炭素を吐き
こきゅう ぎやく
呼吸をしています。逆にコナラは
にさんかたんそ す さんそ
二酸化炭素を吸って酸素を
は
吐きます。コナラは、みんなに
ひつよう くうき
必要な空気をつくって
いるのです。



わか き さんそ
若い木は酸素を
たくさんつくります

とし
コナラも歳をとります。
わか き こきゅう
若い木はたくさん呼吸をして
さんそ ふる き
酸素をつくりますが、古い木は
こきゅう
呼吸をしなくなります。
ふる き ふわ き
古い木を切ることで若い木が
そだ やま げんき
育ち、山は元気になります。



コナラ

って、どんな木？

たか ちよっけい
高さ10～20メートル、直径50～60センチ。

すみ つか
“まき”や“炭”によく使われます。
ひょうめん じょうぶ てんぱん ざいりょう
表面がかたくて丈夫なので、天板の材料にもピッタリ。
みの き ゆうめい
ドングリが実る木としても有名です。

つか
コナラをたくさん使うほど、
しぜん ゆた そだ
自然が豊かに育ちます。

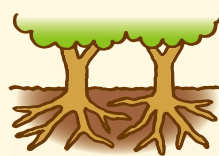
もり どうぶつ
森の動物や
こんちゅう そだ
昆虫を育てます

みの
コナラにはドングリが実ります。
もり どうぶつ た そだ
森の動物たちは、それを食べて育ちます。
あき は お つち えいよう
秋に葉が落ちると土の栄養にもなり
こんちゅう げんき
昆虫たちも元気になります。



ね ふか は
根を深く張り
やま つよ
山を強くします

くら ね
コナラはスギやヒノキに比べ根っこが
じめん ふかの くず じょうぶ
地面に深く伸びるため、崩れにくい丈夫な
つち たいふう どしゃくず
土をつくり、台風や土砂崩れなどの
しぜんさいがい やま まも
自然災害から山を守ります。



てんぱん
コナラの天板ができるまで てんぱん つく とめ ひと かか
天板を作るために、登米のさまざまな人が関わっています。

1
伐採
ばっさい



2
乾燥
かんそう



3
加工
かこう



4
組立
くみたて



しぜん き つか
●●●● 自然の木はキズがつきやすいので、たいせつに使ってください。 ●●●●